

人権とは「生きる力」～エンパワメントと人権との関係

森田 ゆり (エンパワメント・センター主宰)
<http://www4.osk.3web.ne.jp/~stmorita/>

森田ゆりさんは、1997年から「エンパワメント・センター」を設立し、エンパワメントの視点を日々の実践の中で活かしていくための研修などを数多く行っています。

今からちょうど10年前のことでした。当時アメリカに住んでいたわたしは、人権研修を頼まれて日本へ向かう飛行機の中で、その研修内容を準備していました。ふと窓の外を見ると、さまざまな形をした雲が一面に広がっていて、やわらかな雲の上にふんわりと機体が浮かんでいるようで、なんともどかな光景でした。しかし、飛行機は地上3万フィートの対流圏をジェット気流に乗り、水平飛行しているのですから、実はすさまじい風が吹く中を、千百キロのスピードで疾走していたのです。

なんとという錯覚なのでしょう。窓から見えるのんびりした光景が現実なのか、それとも千百キロで疾走する機体の中に座っている自分が現実なのか。加えて、乗客は時間を逆戻りして、太陽が8時間以内に沈んでまた昇るのを見るのです。人間が知覚で認知できる現実とはなんと限られたものなのでしょう。のんびりと雲の上に浮かんでいる自分は、疾走する飛行体でもあるのです。自分とはこんなものだと思っているわたしたちの自己認識は、もしかしたら大変に限られたものなのかもしれません。

再び目をやった飛行機の窓の外のさまざまな形の雲の中に、大きなハート型の雲をみつけて、「そうか!」とわたしはつぶやきました。エンパワメントと人権の関係をどう説明すれば最もわかりやすいかをずっと考えていたのですが、そのとき、窓の外の雲からヒントを得たのでした。以来、わたしはエンパワメントとは何かを伝えるために、右のようなハートの図を書いて説明す

るようになりました。

わたしたち誰にも内在するさまざまな力があります。それはたとえば、生体が養分を外界から取り入れ、消化・吸収・排泄するという生理的な生存力です。また、産まれ落ちたときから人を求めて泣く、あの人とつながろうとする力です。さらに、わたしたちの存在の中心には、あかちゃんからお年寄りにいたるまで、すべての人間がもつ生きるためになくてはならない力=人権があります。そう、人権とは、あなたの持つたくさんの権利の中でも、とりわけ大切な特別な権利のことです。それは、その他もろもろの権利とは明確に異なる次の二つの特性を持ちます。「すべての人が持つもの」そして「それがないと生きられないもの」。その他の権利たとえば自動車を運転する権利には、この二つが伴いません。しかし人権、たとえば最低限の衣食住が保障されることは、この二つが伴います。人権が人間である限り誰でもがもっていて、かつそれがないと生きるのにとでも困るものであるならば、わたしは、それを別名『生きる力』と呼んでよいのではないかと思います。「エンパワメント」とは、人に内在するこのような力を発揮していく、人と人との関係のあり方にほかなりません。



人権学習シリーズvol. 2

『働く』

仕事に就くことも、働き続けることも難しい時代。こんな今だからこそ、単に「お金を稼ぐ」ためだけでなく、本来の「働く意味」を確かめることが大切だと考えます。

人権学習シリーズvol. 2『働く』は、人権の観点から働く意味をじっくり考えることをねらいとして、参加体験型学習を進めるファシリテーター（進行役）のハンドブックとなるよう作成中です。どうぞご活用ください。

使ってみて!
教材紹介

主な内容

- ワークショップを進めるためにファシリテーターのあなたへ
- アイスブレイキング小ネタ集
- 教材（アクティビティ）
 - ①学習をより効果的に進めるための教材
 - ②働く意味を考える教材
 - ③多様な職業観・働き方考える教材
 - ④すべての人が共にいきいきと働くことを考える教材
- 資料・相談窓口の紹介